

日商簿記1級に合格するための学校 [テキスト] 工業簿記・原価計算 基礎編 I (2016年2月2日 初版第2刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP[「ネットスクール」検索→「読者の方へ」]にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいませようお願いいたします。

2017.7.6

| ページ | 訂正箇所 | 誤 | 正 | 備考 |
|------|--------------------------|---------------|---------------|----------|
| 9-37 | 04-01解説 ③正常仕損費の負担先の決定 | 月末 40% | 月末 24% | 2017.7.6 |

ISBN978-4-7810-3155-2 C1034 ¥2000E

日商簿記1級に合格するための学校 [テキスト] 工業簿記・原価計算 基礎編 II (2016年3月7日 初版第2刷)

2018.4.4

| ページ | 訂正箇所 | 誤 | 正 | 備考 |
|------|--|---|--|-----------|
| 2-24 | 仕掛品 貸方 勘定科目 | 仕 掛 品売却価値 | 仕 損 品売却価値 | 2017.7.6 |
| 4-30 | 3. 原価差異 (2)直接原価計算(標準変動費差異) 変動販売費の差異の金額 | 220 | -220 | 2016.4.19 |
| 6-08 | 一番下の販売数量差異の金額 | △5,200 千円 | ±8,000 千円 | 2016.4.19 |
| 6-17 | 3 標準原価差異 1行目 | ～は、 標準売上原価 と製造原価の実際発生額との差額で計算されます。 | ～は、 実際投入量にもとづく標準製造原価 と製造原価の実際発生額との差額で計算されます。 | 2018.4.4 |
| | 3 標準原価差異 2行目の計算式 | 標準原価差異 ⁽²⁾ = 標準売上原価 －製造原価の実際発生額 | 標準原価差異 ⁽²⁾ = 実際投入量にもとづく標準製造原価 －製造原価の実際発生額 | 2018.4.4 |
| 6-22 | 差異分析図下の時間の表記 | 操業度差異 16,500時間 ⁽¹⁰⁾ | 標準操業度 16,500時間 ⁽¹⁰⁾ | 2016.4.19 |
| 6-30 | 3 標準変動費差異 1行目 | ～は、 実績P/Lの標準変動費と変動費の実際発生額との差額で計算されます。 | ～は、 実際投入量にもとづく標準変動製造原価と実際発生額との差額、実際販売量にもとづく標準変動販売費と実際発生額との差額から構成されます。 | 2018.4.4 |
| | 3 標準変動費差異 2行目の計算式 | 標準変動費差異= 実績P/Lの標準変動費 －変動費の実際発生額 | 標準変動費差異= 標準変動費(実際投入量にもとづく標準変動製造原価と実績P/Lの標準変動販売費) －変動費の実際発生額 | 2018.4.4 |

ISBN978-4-7810-3157-6 C1034 ¥2200E